

平成23年6月 調布市子ども発達センター
TEL/042-486-1190 E-mail/ ayumi@w2.city.chofu.tokyo.jp

スクッピーだより

(子ども発達センターニュース)



『スクッピー』は、
子ども発達センターの
愛称です。

手をつないで・・・



3月11日に東日本大震災がおこり、2011年は、忘れることのできない年となりました。この大地震で亡くなられた方々、被災された方々に心からお悔やみ、お見舞いを申し上げます。

この間、『絆』(きずな)という言葉がたくさん耳にしました。多くの困難のなかで、人の繋がりがとても大切であることを、改めて強く感じているこの頃です。

子ども発達センターでは、毎日たくさんのお子さんの明るい声が響いていますが、同時に事務室には、毎日のように新しいご相談をいただいています。

お子さんの発達に心配を感じながらの初めての電話は、不安と緊張の中でのご連絡だと思います。センターでは、そのような保護者の皆さまの気持ちに寄り添い、お子さんの成長発達を共に願い、支援を進めることを大事にしています。

皆さまの相談に、より丁寧に応じていくことを目指して、今年度は、相談事業に専任職員2人を配置致しました。

お子さんと保護者の皆さまにとって、センターが心地良い「つながり」の場となること、また、これを出発点にして、同じ立場の保護者同士の「つながり」などに発展し、お子さんと保護者の皆さまにたくさんの絆が生まれていくことを願っています。

また、相談事業の充実により、幼稚園・保育園や学童保育、学校等とも連携を深めたいと考えています。この「連携協力」も、また、より良い支援を願うそれぞれの機関の人と人が、確かな関係を築いていくことなのだと思います。様々な大人たちが手をつなぎあい、網の目をしっかり細かく張り巡らして、お子さんの成長を支えていけるよう取り組んでまいります。

子ども発達センター長 田中 けい子

二度目の春を迎えて



4月には桜、5月には新緑...とセンターの周りには、四季を感じられる自然がいっぱいあり、毎日この自然に囲まれていると、季節の移り変わりがとても早く思えます。

そして、今年の春は特別な思いで過ごしました。あの3月の地震から早いもので3ヶ月が過ぎました。被害に遭われた方には、心よりお見舞い申し上げます。地震の後、センターの周りの桜は、これまでと変わらずに力強く美しい花を咲かせてくれました。一日も早い被災地の復興と原発事故の収束を祈るばかりです。

「通園事業あゆみ」が「あゆみ学園」を調布市から引き継ぎをさせていただいて二度目の春を迎えました。この4月からは、私たち調布市社会福祉事業団が単独で運営を任された形ですが、あゆみ学園のころからの「寄り添う気持ち」をより大切にしながら、引き続き、市の職員の方や関係機関とも連携し、お子さんの療育やご家族の支援に取り組んでいきます。

「あ～楽しかった！明日もまた来たい！！」と一人ひとりに思っていただけに、今後も職員一同頑張りますので、皆さんのお声やご意見をお待ちしております。

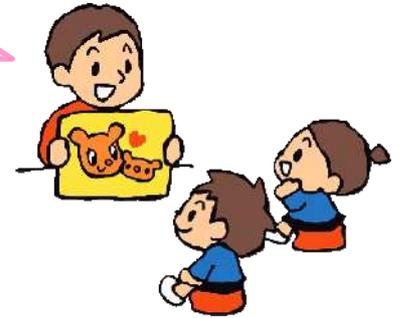
通園事業「あゆみ」園長 田崎 明子

子ども発達センターのクラス・グループ紹介

通園事業



うさぎ りす
こあら ぱんだ



発達支援事業

幼児グループ

らっこ いるか
くじら ペンギン
しろくま あしか

2歳児グループ

ぶどう りんご
みかん いちご
もも ばなな

1歳児グループ

たんぼぼ
つくし
すみれ

さくらんぼ

言語・心理グループ

ちょうちょ } 3歳児
とんぼ }

ひつじ } 4歳児
くま }
ねこ }

きりん } 5歳児
らいおん }
ぞう }
しまうま }
とら }
かんがるー }

作業活動レインボー

きいろ おれんじ あか
むらさき あお みどり

個別指導

作業療法 運動療法
言語療法 心理療法

保健担当より



例年より早い梅雨入りとなりました。お子さんの体調管理をはじめ，食品衛生にも気をつけてこの梅雨を乗り切りましょう。

未曾有の大震災から3ヵ月が経ちました。色々な思いや体験をしましたが，災害に備えて，今できることをご家族と確認していきましょう。

住 居 一家の耐震性と安全確認（家具の転倒防止・落下物，ガラス窓の飛散防止）
屋外の安全確認（塀・出入り口の確保）

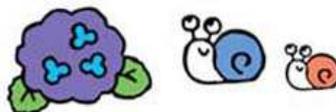
防災用品—食糧（3日分の飲料水，非常食）・貴重品（保険証コピー・現金等）
ライフライン代用品（懐中電灯・電池・カセットコンロ等）・履きもの・
衛生用品（トイレトーパー・ウェットティッシュ・救急セット
タオル・下着等）・情報収集用品（ラジオ等）・軍手・ビニール袋等
子ども用品の準備
オムツ・ミルク，離乳食・常用の内服薬，軟膏・母子健康手帳
お気に入りグッズ・おんぶひも等

情 報 —広域避難場所，避難所の確認と災害時の家族の連絡方法や集合場所の決定。
学校・幼稚園・保育園の災害時対応の把握。
災害伝言ダイヤルや災害用伝言板の使用法確認。

各々のご家庭で必要，重要なものが違いますので，調布市防災マップを基に生命を第一に，何を用意して，どうしていくかを具体的に話し合ってください。そして，ご家族で取り決めたことを記録し，いつも持ち歩くようにしましょう。

当センターは新築の建造物ですので，耐震性は高いと言われて
います。今回の地震後にセンターの吊り遊具については，梁の状
況等を建設業者に確認して使用しています。

また，お子さんだけで登館されている方は，災害時保護者の方
へ無事に引き渡すことができるまで，安全にお預かりできるよう
準備しています。





子ども発達センター保護者の活動の紹介



あゆみ父母会（通園部門）

「あゆみ父母会」は、通園に通っているお子さんのパパ&ママたちの会です。

親睦会やいろいろな行事で、クラス関係なく父母の交流を深めることができるように、役員全員でみんなが楽しめることは何か、話し合ったりしています。

今年はとってもいい意味でゆる～い感じのメンバーでやっているのですが、やる時はピシッと、抜くところは抜く!!!というような感じで頑張っていきますので、「こんなことやってたら...」「あんな事してみたい...」など、意見やアイデアなど浮かんだ方は、遠慮なく、恥かしがらずお申し出ください!!!

楽しい一年になるように、活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

子ども発達センター友の会「スクッピー友の会」

「スクッピー友の会」は、2010年4月に子ども発達センター協力のもとに発足しました。通園「あゆみ」、発達支援部門、卒園児のママからそれぞれ1名ずつが世話人となって活動をしています。

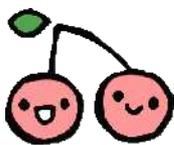
子ども発達センターを現在利用されている、または以前通っていたお子さんの保護者なら誰でも参加できる「おしゃべり会」を年2回開催しています。

おしゃべり会では、幼稚園や保育園の話や小学校の事についての情報交換をしたり、子育てや療育についての悩みや疑問、愚痴を言ってもOK!通園や発達支援部門などといった利用形態を越え、卒園後まで含めたお母さん同士の交流の場を作っていきたいと思っています。

また、個人では言い出しにくい発達センターへの意見や要望も、友の会で取りまとめて、センターに提出しています。

次回のおしゃべり会は6月27日(月)掲示板にも貼ってありますが、まだ案内をもらっていない方で出席希望の方はセンターでもらってくださいね!

申し込み書は、センター1Fのエレベーター横のスクッピー友の会ポストをお願いします。



23年度世話人

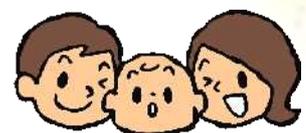
NPO 法人調布心身障害児・者親の会

親の会とは昭和43年、「障害があってもこの子たちを地域で生き生きと育てたい」という想いから、16名のお母さま方により設立されました。

調布市子ども発達センター(旧あゆみ学園)の前身である「あゆみ教室」をつくったのも、この親の会です。

成人・肢体不自由・中高生・小学生・未就学児のグループがあります。

(平成23年4月現在 会員数340余名)年会費2000円



「こぐまグループ」

「親の会・こぐまグループ」は、0～6歳（未就学児）で、発達に遅れや偏りのあるお子さん、特別な配慮が必要なお子さんをお持ちのママたちでつくるグループです。日々の生活や療育、就園・就学に役立つ勉強会や懇談会を実施しています。

子ども発達センター利用者の方にもたくさん会員がいらっしゃいます。会員にならなくてもいつでも参加できる勉強会や懇談会など年に5、6回あります。

「みんなのサポートネット」

「親の会・みんなのサポートネット」は、発達に遅れや偏りを持つお子さんを持つママたちが、お互いに情報交換したり、若いお母さんたちの「お助け隊」となるため、様々な企画を考えていくプロジェクトです。

今年度も先輩お母さんとの懇談会や専門家による学習会、講演会などを企画しています。非会員でも参加OKです！

今後の予定

- ・7月5日 「就学にむけてのミニ知識」 発達センターとの共催企画
(申込みは発達センターへ)

親の会主催のものは1階エレベータ横、3階保護者交流室の掲示板にて案内をしておりますので、センターへお越しの際はぜひご覧ください。こぐまグループ案内も見てね！

おやじの会

「おやじの会」は、在園児のお父さん方を中心に、子ども発達センターの先生方や、卒園児のお父さん方も交え、定期的開催している飲み会です。

時には、「子供の話」で先生方や、先輩お父さん達から貴重なお話を伺えたり、単なる飲み会ネタで大いに盛り上がり、「懐の深さ」と「幅の広さ」がウリのアットホームな飲み会です。(年4～5回開催)

要は単なる「飲み会」なのですが、このような会合はとても貴重な集まりだと思います。通園、発達支援といった部門を越え、このような「飲み会」繋がりが、就学後も、いろいろな局面で支えになることもあろうかと思えます。

また、「おやじの会」のメンバーで「おやじバンド」を結成して、センターでの行事では、子ども達の前で生演奏を行ったり、さらに、調布市の駅伝大会でも「あゆみの親父」としてチームを作って毎年出場し、好成績を残しています。バンドも駅伝も、随時メンバー募集中です。

当会、これからも、幅広く皆さまに参加を呼びかけていきたいと思っておりますので、まだ参加されたことのないお父さん方、子ども発達センターの先生方にも、是非お気軽にご参加いただき、「おやじの輪」を一緒に広げていきましょう！

お母さん方からもぜひ旦那さまにお知らせいただければと思います。詳細は掲示板で！



保護者の活動につきましては、
1階エレベータ横に掲示板が
ございますのでご覧ください。





東日本大震災義援金のご報告

平成23年3月半ばから、当センターの事務室に設置いたしました募金箱に、5月末日までに、56,695円の義援金が寄せられました。

日本赤十字社を通して送金いたしましたので、ご報告いたします。

皆様のあたたかいご支援ありがとうございました。

ボランティア募集

当センターでは、利用児のきょうだいの保育をしていただけるボランティアの方を募集しています。

詳しくは子ども発達センターまでお問い合わせください。



i-ファイルをご利用下さい

調布市は障害児等への一貫した支援を推進するため、平成19年から「調布市障害児等の個別記録票の作成等に関する研究プロジェクト・チーム」を設置し、検討を重ねた結果、個別記録票“i-ファイル”を作成いたしました。

“i-ファイル”の「i」には、「individual(個別の、個人の)」や「identity(個性・主体性)」、「愛」という意味が込められています。

“i-ファイル”は、お子さんたちが健やかに成長するために、保護者と様々な機関が連携・協力して支援できるよう、お子さんの様子や、これまでに受けてきた支援の内容などが書き込めるようになっています。

調布市では、お子さんの成長を応援する全ての人々の共通理解のもとで、一貫した支援ができるよう“i-ファイル”を配付しています。

《配付方法》

- ・調布市子ども発達センター
- ・教育相談所(教育会館6階)
- ・子育て支援課(市役所3階)で配付いたします。



平成23年度 年間予定

通園事業（児童デイサービス）		センター全館共通	
5月	28日 春の遠足（こどもの城）	18日	就学相談説明会
6月		10日	療育見学会
		22日	療育見学会
7月	2日 おあそび会	5日	保護者勉強会 （3～5歳児の保護者対象）
8月	26日 夏祭り	3日	子ども施設研修会
		24日	障害児保育申請説明会
9月	長時間・宿泊療育	30日	保護者勉強会
10月	13日 秋の遠足	20日	療育見学会
		22日	センターまつり
11月		1日	療育見学会
		10日	公開講座
12月	22日 子どものつどい		
1月		27日	保護者勉強会
2月	4日 保護者交流会	21日	子ども施設研修会
3月	16日 卒園式		

編集後記

このスクッピーだよりも、2年目の発行となりました。
関係機関の皆さまにも配付させていただくことになり、
子ども発達センターの様子を、多くの方に知っていただ
ける機会になれば...と思います。

今年の夏は暑くなりそうですが、皆さま体にお気をつ
けてお過ごしください。

今後ともよろしく願ひいたします。

